

米子市下水道事業ウォーターPPPに係る
マーケットサウンディング（第3回）



米子市イメージキャラクター「ネギ太とネギ子とネギボ」
3人合わせて「ヨネギーズ」

米子市のウォーターPPP事業方針

【要求水準作成に向けて】



令和7年11月19日（水）

米子市上下水道局

【要求水準で求める事業実施体制】

○地元企業との連携

事業者は、対象施設に係る修繕や更新工事等、事業の実施に際し、**地元企業等と連携**し、地域密着した事業実施体制構築に努めるものとする。

事業実施体制

【事業実施体制の具体案】

1. 各業務毎に実施方法を指定する
2. 再委託先の選定方法に条件を設定する

各業務の実施方法

I. 各業務毎に、実施方法を指定（例）

業務区分	業務区分	実施方法*
下水道施設に関する業務	処理場施設等管理業務	1
	処理場施設等改築業務	2
		3
	汚水管路施設等管理業務	1
	汚水管路施設等改築業務	2
		2
		2
	下水道事業各種調査・計画策定業務	2

I 受託者（W-PPP契約者）

※実施方法 2 受託者又は出資企業、協力会社

3 受託者が行う入札により決定した民間企業

各業務毎に実施方法を指定するメリット等

【考えられるメリット、デメリット】

- | | |
|------------|---------------------|
| (1) 契約透明性 | ◎ 実施方法の根拠が明確 |
| (2) 契約管理 | △ 方式混在により管理負担が増 |
| (3) リスク分散 | ○ リスクの所在を業務別に整理 |
| (4) 利益確保 | △～× 価格設定・調整が困難 |
| (5) マネジメント | △ 再委託先・協力会社との整合性が課題 |

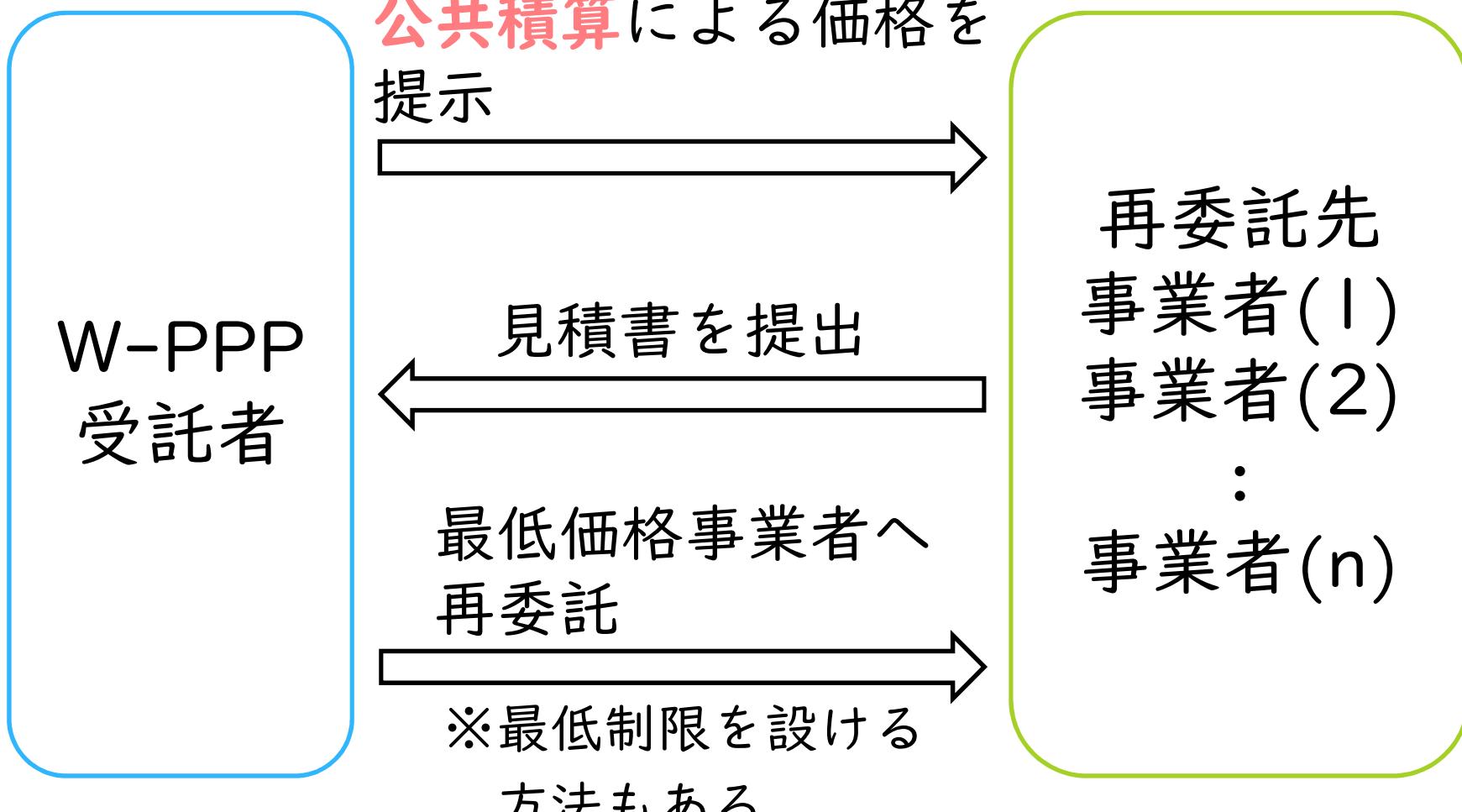
再委託先の選定方法

2. 再委託先の選定方法に条件を設定（例）

- 公平性、競争性のある価格、方法により再委託先の選定を行うこと。
- 再委託先の選定方法について、
事業実施計画書などにより市の承諾を得ること。

再委託先の選定方法の具体例

【選定方法の一例】



再委託先の選定方法に条件を設定するメリット等

【考えられるメリット、デメリット】

(1) コスト

○ 安価な業者を選定可能

(2) 公平性

○ 客観的手法での選定

(3) 事務負担

△ 仕様書作成等の労力が必要

(4) 品質

△ 価格競争での品質低下リスク

(5) マネジメント

△ 既存取引先、技術力を有する事業者を選定できない

要求水準、発注公告作成に向けて

官民の適切な役割分担とリスク分担を明確にし、長期的な視点で事業の持続可能性と効率性を確保することが大切であると考える。

(1) 性能発注

ライフサイクルコスト（LCC）の縮減やサービス水準の向上を実現できるよう「**達成すべき結果や水準（性能）**」を具体的に定めます。

(2) 適切なリスク分担と契約の明確化

予期せぬ事態や**費用の増減に対応できるよう、官民双方の役割とリスクの責任範囲を明確**にする。

(3) 地域経済への影響

地域雇用の創出や地元企業の参入機会確保など、地域への貢献も要求水準を検討する上で重要と考える。

米子市下水道事業ウォーターPPPに係る
マーケットサウンディング（第3回）



米子市イメージキャラクター「ネギ太とネギ子とネギボ」
3人合わせて「ヨネギーズ」

米子市のウォーターPPP事業方針

【事業スキームと費用について】



令和7年11月19日（水）

米子市上下水道局

米子市のウォーターPPP事業方針

I. 事業スキームについて

事業スキームについて

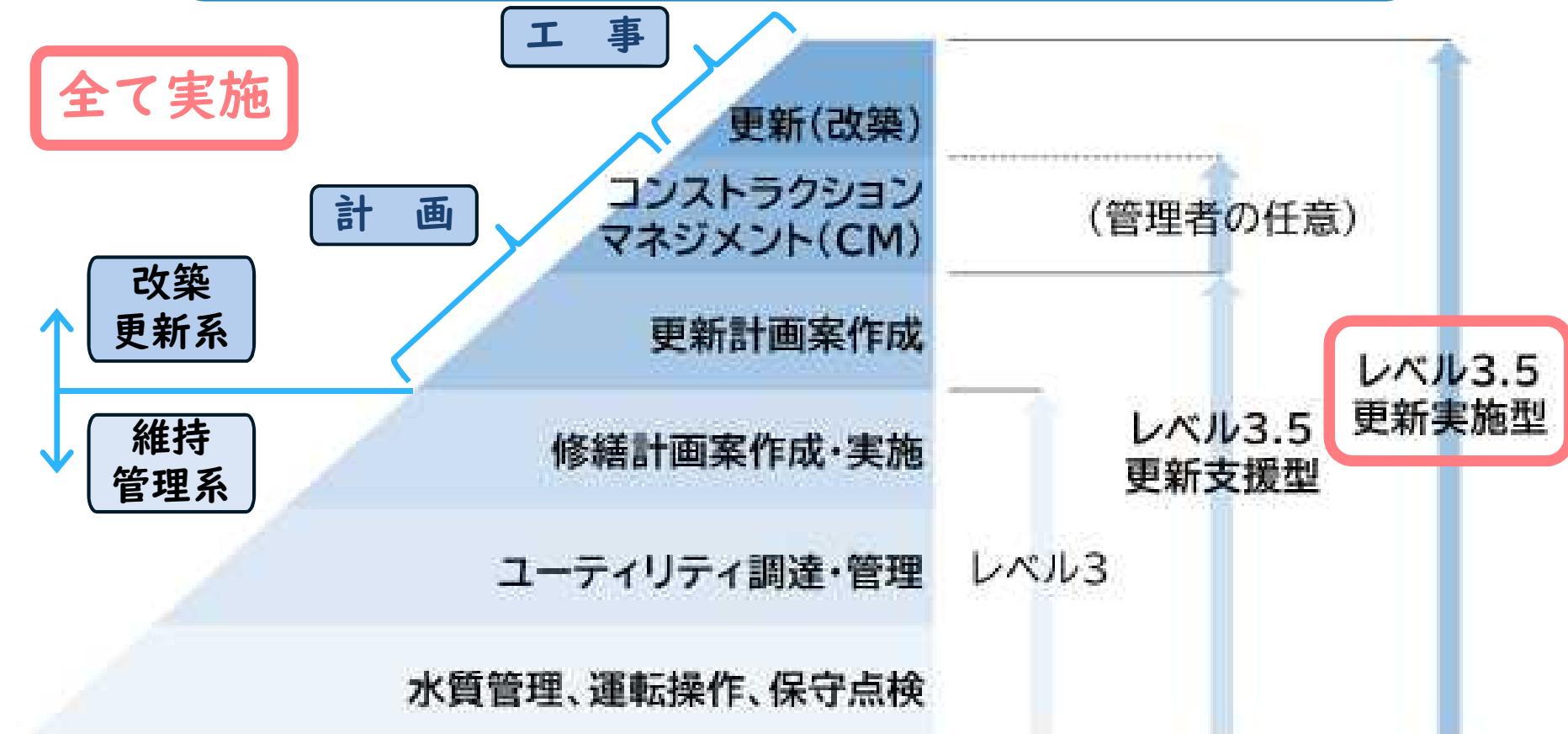
- 事業期間：**10年間**（令和11年度～20年度）
- 対象区域：**市内全域**
- 事業方式：**更新実施型**
- 対象事業：**公共下水道事業**
農業集落排水事業
- 対象施設：**全施設**
→**管路施設、処理場・ポンプ場**

事業方式について

【管理・更新一体型マネジメント】

米子市は、更新実施型（レベル3.5）を採用。

※ウォーターPPPでは、施設の維持管理と改築更新（工事）を
一体型マネジメントにて事業を行う。



更新実施型について

【管理・更新一体型マネジメント】

施設の維持管理と更新を一體的に実施

⇒計画案作成等に加え、工事実施も業務範囲

本事業での採用類型

更新実施型

維持管理

修繕

更新工事

計画～工事まで民間が実施

※料金徴収に係る業務は
引き続き市で実施

対象業務の概要

対象業務は大別して以下のとおり。
事業全体を統括管理する業務により、**効率的な事業実施。**

大別	内 容	対 象	備 考
管理	統括管理・マネジメント	○	事業の全体運営管理、受発注者協議など
	セルフモニタリング など	○	
維持	苦情・緊急対応	○	管路の詰り・破損対応、処理施設の修繕、日常点検など
	清掃	○	
	補修・修繕	○	
	保守点検 など	○	
計画	計画等策定	○	施設更新計画の構築やSM計画の時点修正など
	既計画修正 など	○	
工事	設計	○	管路・施設改築に係る設計～施工、新設管路の施工
	改築	○	
	新設 など	○	
料金	窓口	×	上下水道一体にて運営されているため含まない
	料金徴収	×	
	滞納整理 など	×	
その他	災害対応 など	○	初動対応の協力

対象業務について

○公共下水道事業

汚水施設・雨水施設を含む

○農業集落排水事業

全施設（処理場、マンホールポンプ、管路施設）の維持管理・計画・実施設計・施工の全て含む

○農集統合事業

計画に係る提案と修正・実施設計・施工を含む

○処理場再構築事業

含まない（本体に付随する部分的なものは含む）

公共下水道事業について

○汚水

処理場、ポンプ場、マンホールポンプ、真空ステーション、管路施設の維持管理・計画・実施設計・施工を実施

※管きょは、新設工事を含む。

※処理場は、一部を除き再構築事業は含まない。

○雨水

管路施設、樋門の維持管理・計画・実施設計・施工を実施

雨水管理総合計画に基づく

- | | | |
|--------------------|---|-------|
| ※段階的対策計画の改定 | … | ○含める |
| ※段階的対策計画に基づくハード整備 | … | ○含める |
| ※日常の維持管理（雨水管等の修繕等） | … | ○含める |
| ※履行管理（雨水管工事の進行管理等） | … | ✗含まない |
| ※大雨時緊急対応 | … | ✗含まない |

公共下水道事業の対象

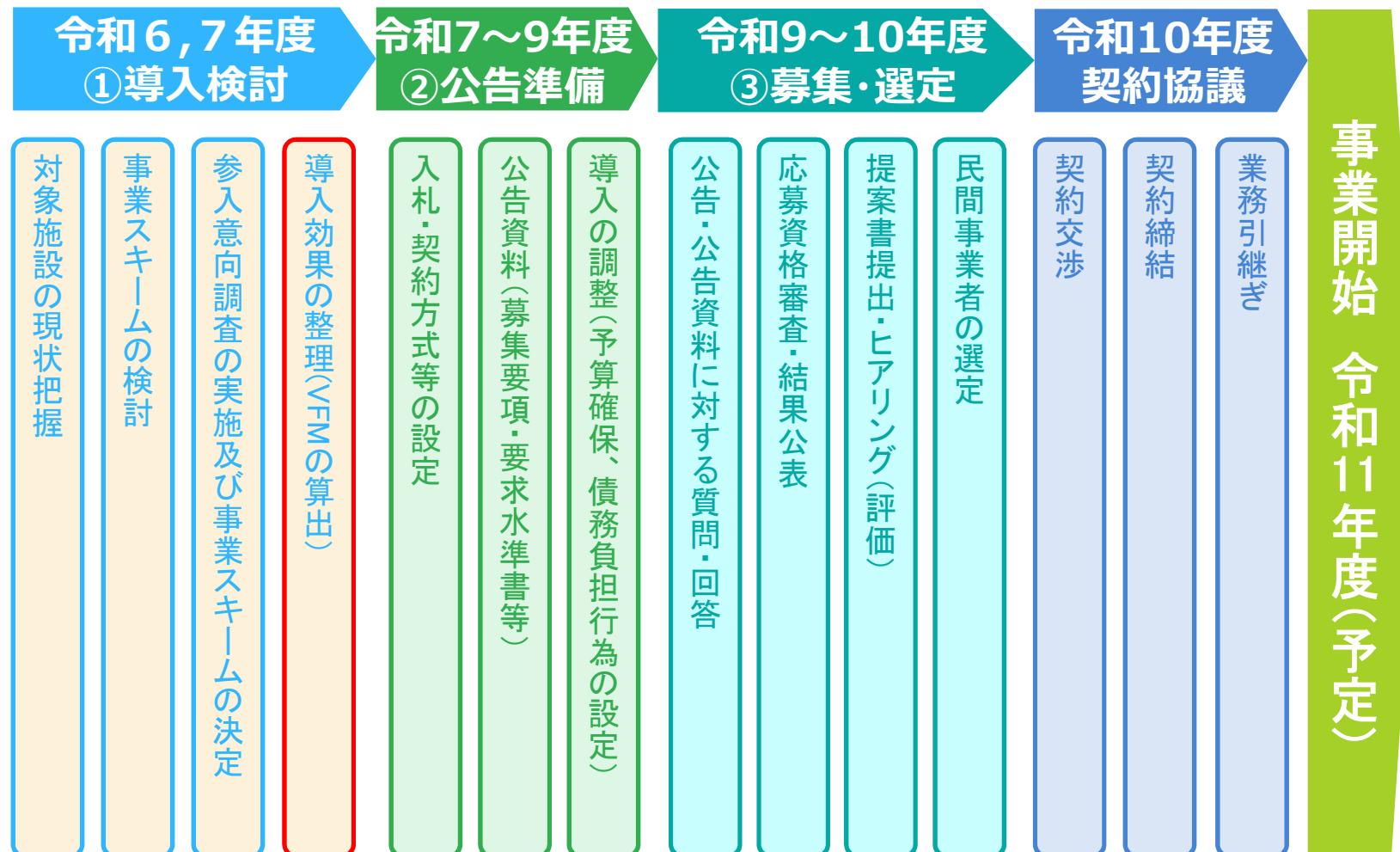
業務内容	管路		施設		
	污水施設	雨水施設	処理場	ポンプ場	MP
料金業務	×	×	×	×	×
ユーティリティ等調達			○	○	○
廃棄物処分			○	○	
台帳システム管理	△	△	△	△	△
運転管理			○	○	
水質・汚泥試験			○		
保守点検	○	○	○	○	○
清掃業務	○	○	○	○	○
安全管理	○	○	○	○	○
修繕業務	○	○	○	○	○
苦情要望対応	○	○			○
緊急対応	○	○	○	○	○
調査業務（更新計画策定用調査）	○	○	○	○	○
更新計画案作成	○	○	○	○	○
詳細設計	○	○	○	○	○
更新工事（改築工事）	○	○	○	○	○

※雨水施設について、大雨時緊急対応は含まない。

※台帳システム管理について、対象とするかは検討中。

事業スケジュール（予定）

現時点での想定スケジュールは以下のとおりであり、令和11年度からの事業開始を目指としています。



米子市のウォーターPPP事業方針

2. 事業費について

事業費の要略

○処理場、ポンプ場等の施設費（10年間）

維持管理費 · · · · · · · · · | 104.3億円

計画、設計等委託費 · · · 10.5億円

○農集統合事業費（10年間）

計画、設計等委託費・・・ 4.2億円

事業費の要略

○管きよ等の土木費（10年間）

【汚水】

維持管理費	・・・・・・・・・・	7.0億円
改築工事費	・・・・・・・・・・	14.2億円
計画、調査、設計委託費	・・・	5.1億円

【雨水】

維持管理費	・・・・・・・・・・	300万円
新規整備工事費	・・・・・・・・・・	49.1億円
計画、調査、設計委託費	・・・	4.2億円

事業費の内訳（処理場、ポンプ場等）

○維持管理費（10年間）

下水道事業：修繕、維持管理等

➡ 約89.3億円（実績ベース）

集落排水事業：修繕、維持管理、流通団地維持管理委託等

➡ 約15.0億円（実績ベース）

○改築工事費（10年間）

下水道事業：ストマネ計画、耐震・耐水化計画等

➡ 約39.3億円（計画ベース）

集落排水事業：点検・調査結果をふまえた施設の改築工事

➡ 約2.2億円（実績ベース）

○計画、設計等委託費（10年間）

下水道事業：改築工事（下水道事業）の計画・設計業務

➡ 約10.5億円（計画ベース）

事業費の内訳（農集統合事業費）

○工事費（10年間）

汚水処理構想における農業集落排水と公共下水道の統廃合
(流通・大高、尚徳第2・五千石、尚徳第1・成実第1・成実第2、福井・福岡)

➡ 約14.2億円（計画ベース）

○計画、設計等委託費（10年間）

下水道事業：上記業務の計画・設計業務

➡ 約4.2億円（計画ベース）

事業費の内訳（管きょ）

○汚水管きょ（10年間）

維持管理費：対象管きょの修繕及び清掃

→ 約7.0億円（実績ベース）

改築工事費：対象管きょの管更生

→ 約14.2億円（計画ベース※）

計画、調査、設計委託費：点検・調査及び上記業務の設計

→ 約5.1億円（実績ベース）

○雨水管きょ（10年間）

維持管理費：雨水樋門の修繕等を想定

→ 約300万円（実績ベース）

新規整備工事費：各計画における新規雨水幹線整備

→ 約49.1億円（計画ベース）

計画、調査、設計委託費：点検・調査及び上記業務の設計

→ 約4.2億円（実績ベース）

事業費の想定

全体事業費は、10年間で**約308億円**。

ウォーターPPPでは、実施事業費の**低減**を見込む。

費用区分	対象施設	事業費（億円）	
		PSC	PPP-LCC
建設費	下水処理場・ポンプ場・MP	39.3	37.7
	農集処理場・ポンプ場・MP	16.4	15.5
	管路	63.3	58.5
維持管理費	下水処理場・ポンプ場・MP	89.3	88.0
	農集処理場・ポンプ場・MP	15.0	14.3
	管路	7.0	6.7
計画・調査・設計		24.0	22.9
小計		254.3	243.7
消費税相当額		25.4	24.4
統括管理費・SPC設立費・モニタリング費		-	4.4
物価上昇考慮費用（年2%上昇を想定）		28.5	27.7
総計		308.2	300.1

補足事項

○統括管理費

ウォーターPPPガイドラインより、対象業務の直接業務費（建設費を除く）の5%程度を想定。

○SPC設立費

SPCの設立および維持費として、初期費用500万円、毎年度費用300万円を想定。

○モニタリング費用

5年に1度モニタリングを実施するとして、1回1,500万円を想定。

○物価上昇率考慮

本市経営戦略における物価上昇率想定をもとに、毎年度2%ずつ事業費が上昇すると想定。